

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、視神経炎で通院歴のある患者さんやご家族の方へ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんやご家族の方に新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、患者さんの診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

視神経炎によるコントラスト感度への影響

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学眼科学講座 助教 西 晃佑

3. 研究の目的

視神経炎を発症すると視力や視野障害以外に、コントラスト感度が低下します。コントラスト感度の低下はQOV(quality of vision)へ影響しますが、視神経炎の種類や治療内容とコントラスト感度の関係性について調査した報告はありません。今回、われわれは、コントラスト感度検査を施行することができた視神経炎の患者様を対象とし、視神経炎の種類や治療内容とコントラスト感度の障害の関係性を後ろ向きに調査したいと考えております。それにより、今後、コントラスト感度検査が視神経炎の診断や治療方針を決める際に有用となる可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

視神経炎の患者さんで、2020年1月1日から研究承認日までの期間中に、コントラスト感度検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、コントラスト感度検査、視力検査、視野検査、限界フリッカ値、眼底検査や治療内容などに関する情報です。

(3) 方法

コントラスト感度と視神経炎の種類、治療内容との相関性について調査します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんの診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

資金源や利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学眼科学講座 担当医師 西 晃佑

TEL : 073-441-0649 FAX : 073-448-1991

E-mail : nknknknk@wakayama-med.ac.jp